

ENNEAGRAM STUDY GUIDE

エニアグラムタイプ別・ 国語の罠と対策シート

個々の特性に合わせたアプローチで、
「文章読解の癖」を味方に変える戦略ガイド

はじめに

エニアグラムの9つのタイプは学習への動機や思考のクセが異なり、それぞれ文章読解で陥りやすい誤りや“罠”も異なります。

以下、各タイプの特徴（学習スタイル・思考・情報の受け取り方）を確認しつつ、国語の読解問題でよく起こるミス、対策（子ども自身の意識や工夫）、そして親・指導者からの声かけポイントをまとめます。

タイプ1 (改革する人・完璧主義者)

◆ 学習スタイル・思考のクセ

高い理想を掲げて努力する頑張り屋で、ルールや秩序を重視します。物事を「正しいか・正しくないか」で判断し、途中のプロセスや細部まで丁寧に取り組むのを好みます。常に完全を目指すあまり、細かいミスや理想とのギャップに敏感になります。

❖ 子どもの対策ポイント

「完璧でなくても良い」意識を持ち、要点を押さえます。「70%理解ルール」で先へ進む練習をしましょう。構造を把握してから読み始め、細部に時間を取られすぎないようにします。解答は最後に見直す前提で一度仕上げます。

❖ 親・指導者の声掛け

「大丈夫、完璧じゃなくていいよ」「今の力でベストを尽くせば十分」と声をかけ、緊張をほぐします。学習計画では優先順位を一緒に決め、「完璧ではなく要点理解を重視する」姿勢を促します。

▲ 陥りやすい認知バイアス・読解時の罠

完璧主義が災いし、文を「100%理解してから次に進みたい」という思い込みや、小さなミスが許せない認知バイアスに陥りやすいです。これにより本文の全体像ではなく些細な部分にとらわれ、本旨を見失うことがあります。答えの選択肢を理想と比較しすぎて迷うこともあります。



タイプ2（助ける人・献身家）

◆ 学習スタイル・思考のクセ

他者への貢献を喜びとし、協調的・思いやり深い性格です。自分の成績も「周囲に喜んでもらうため」と他者への報酬と結びつけます。自分のニーズを後回しにし、学習中も助けを求められたらそちらを優先する傾向があります。

◆ 子どもの対策ポイント

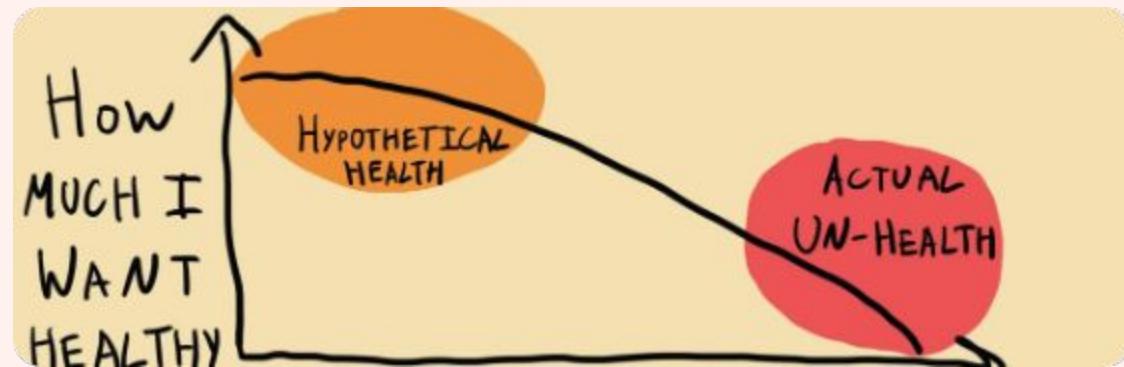
「今は文章の内容を正確に理解する時間」と意識し、気遣いを一旦置きましょう。読了後に「この部分を自分の言葉で要約したい」と要約してみると自分視点に戻れます。「助けたい相手のために何を学べたか」をモチベーションにします。

▲ 読解時の罠

人物に感情移入しすぎて客觀性を欠きがちです。「どうしたら助けてあがられるか」を先に考えたり、自己犠牲的に解釈してしまうことがあります。設問への答えが「相手を攻撃していないか」「失礼ではないか」など他者目線で左右されることがあります。

◆ 親・指導者の声掛け

「自分のために勉強するのも大切」と伝えましょう。「あなたが成長すれば他の人も助かるよ」と他者貢献に結びつけるのが有効です。ペア学習など仲間と一緒に学ぶ機会を作り、相談しやすい環境を整えます。



タイプ3 (達成する人・実行派)

🏆 学習スタイル・思考のクセ

目標達成意欲が高く結果を重視します。効率よく成果を出すことに喜びを感じ、合理的・実用的な学びを好みます。「失敗を恐れて弱みを見せない」「人からの評価を第一に考える」ため、見た目の良さに飛びつきがちです。

▲ 読解時の罠

解答を急ぎ過ぎる傾向があります。設問の答えを予想して本文を走り読みし、本来の文脈を読まずに答えを決めてしまうことがあります。確証バイアスが働き、「ここさえ読めばいい」と先入観で解釈してしまう恐れがあります。

❖ 子どもの対策ポイント

解答より「本文を丁寧に読む」ことを優先。重要キーワードに下線を引きます。段落ごとに要点をメモしてから答えましょう。正解以外の選択肢がなぜ不正解かを確認する習慣をつけます。プロセス自体の評価を意識します。

▢ 親・指導者の声掛け

「結果だけでなく過程もすごいよ」と評価します。成績ばかりが目標にならないよう、具体的な中期目標と一緒に設定します。「失敗してもそこから学べる」と励まし、過去の自分と比較する視点を伝えます。



タイプ4（個性的な人・芸術家肌）

◆ 学習スタイル・思考のクセ

豊かな感受性と独自の感性を持ち、独創的な学びを好みます。ストーリー性のある学習にモチベーションを感じますが、気分屋でムラがあり、ネガティブ時には手が止まることがあります。

▲ 読解時の罠

主観的な解釈に傾きやすいです。「自分ならこう感じる」と重ねたり、感動的な表現に影響されて客観的事実を見逃すことがあります。芸術性に着目しすぎて、設問が問う論理関係を後回しにする危険があります。



❖ 子どもの対策ポイント

「まず事実・論理を整理する」癖を付けます。客観的事実をメモし、感情とは切り分けます。感情移入したときは「これは作者の演出だ」と一歩引いて考えます。絵や音楽、自分なりの解釈の書き出しなど創造的なアウトプットを活用します。

❖ 親・指導者の声掛け

感性に共感しつつ「その上で作者はこう言いたかったんだね」と方向付けをします。読んだ内容をイラストにするなど表現の場を提供します。学習計画は小分けにし、無理のないステップを作ります。

タイプ5（研究者・考察家）

▶ 学習スタイル・思考のクセ

知的好奇心が強く、一人でじっくり考える「賢者」タイプ。論理的・体系的理解を重視しますが、自分の世界にこもり、得た知識を単独で抱え込みがちです。

▲ 読解時の罠

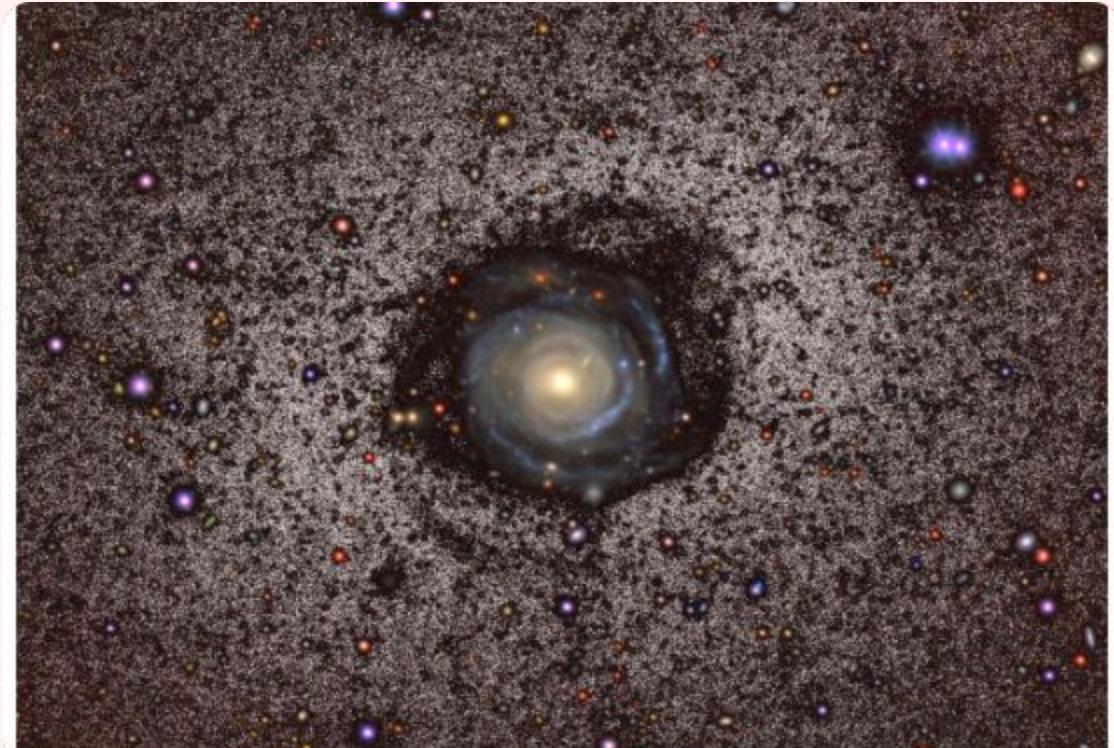
必要以上に細部や関連知識にこだわり、横道に逸れて時間を浪費します。理解が完全でないと次に進めない癖があり、テストで時間切れになることがあります。素早い解答が求められる状況で焦りやすいです。

❖ 子どもの対策ポイント

読む範囲を限定し、「最低限このレベルで理解する」ゴールを設定。必須情報に注目し、わからない語句は飛ばして仮置きする訓練をします。得た情報を誰かに説明する場を持つと客観的な把握ができます。

▶ 親・指導者の声掛け

集中力を尊重しつつ、「教えてくれる人がいるから安心」と伝えます。「まず押さえるべきポイントは？」と視野を広げる習慣を促し、「わからない部分は後で調べよう」と柔軟な切り替えを導きます。



タイプ6（忠実な人・安定志向）

① 学習スタイル・思考のクセ

真面目で責任感が強く、安心できる方法を好みます。信頼できる指導者や仲間との学びを望み、不安を感じやすいため計画的に学習します。

▲ 読解時の罠

不安から「これでいいのか」と迷い、ペースが遅くなります。設問の裏（トラップ）を深読みしすぎて本筋を見落としたり、選択肢選びで「先生の期待に沿うか」と過剰に悩む傾向があります。

❖ 子どもの対策ポイント

「これだけは押さえる」要点を明確にし、不安要素を減らします。「一度決めたら次に進む」とルール化。信頼できる教材で計画を立て、学んだことを友人に教えて自信をつけます。

❖ 親・指導者の声掛け

不安に耳を傾け「一緒に考えよう」と安心感を与えます。小さな目標設定で成功体験を重ね、「まずは答えを出してみよう、足りないと思ったら戻ってもいいよ」と柔軟性を教えます。



タイプ7 (楽天家・冒険好き)

⚡ 学習スタイル・思考のクセ

好奇心旺盛で明るい性格。楽しいことを優先し、飽きたと別の興味に移ります。学びにもゲーム感覚やワクワク感を求めます。

▲ 読解時の罠

重要段落を飛ばし読みし、必要な情報を取りこぼします。地味な説明文を流し読みし、選択肢選びで「早く終わりたい」「面白そうな答え」とせっかちに決めてしまうことがあります。

❖ 子どもの対策ポイント

タイマーを使った短時間集中や○×クイズなど、学習にゲーム性を取り入れます。教材を新鮮なものに替え、「段落ごとに要約する」などパターンを決めて飛ばし読みを防ぎます。

◆ 親・指導者の声掛け

楽しい方法をいっしょに考えます。達成度をグラフ化し、飽きたら次の手を用意してメリハリをつけます。小さな目標を設定し、やる気が続くよう支援します。



タイプ8 (挑戦者・リーダータイプ)

◆ 学習スタイル・思考のクセ

正義感が強く、力になる実践的知識を求めます。独立心が旺盛ですが、弱みを見せるのを嫌い、短気で物事をさっさと片付けたがる面があります。

▲ 読解時の罠

細かい論理より「大筋の主張」ばかりに注目し、設問の理由説明が不足しがちです。自分の解釈を正しいと決めつけ、他の選択肢を検討せず誤答するリスクがあります。急ぎ読みでの読み飛ばしも起こります。



❖ 子どもの対策ポイント

「なぜ作者はこう言ったのか」を確認する習慣を持ち、基礎理論も大切にします。実践目標を設定して学習に集中。人に教える機会で協調性を高め、落ち着いて読む時間を作ります。

◆ 親・指導者の声掛け

「別の視点も見てみよう」と多角的な考えを促します。具体的でチャレンジングな目標を立て、「負けても学べることがある」と失敗への抵抗感を和らげます。

タイプ9（平和を好む人・調停者）

◆ 学習スタイル・思考のクセ

温厚で平和主義者。穏やかな環境で自分のペースで学ぶのを好みます。周囲との調和を大切にしますが、物事を流れに任せてしまう面があります。

▲ 読解時の罠

のんびりした性格から「先延ばし癖」が出やすく、テスト中も問題を後回しにしがちです。対立を問う問いに抵抗感を持ち、決断力が弱く選択肢を絞り込めないことがあります。

❖ 子どもの対策ポイント

簡単なルーティンから開始。誰かと一緒に学んで緊張感を維持します。設問の要求（条件・字数）に線を引いて明確化し、決断力を助けます。小さな成功体験を積み重ねます。

◆ 親・指導者の声掛け

「一緒にやろう」「明日までに終わらせよう」と軽いプレッシャーで集中を促します。「一つ選んでやってみよう」と後押しし、意見を言う練習を積ませるのが大切です。



まとめ：最適な学習戦略のために

本シートでは、タイプ別に陥りやすい「思考の癖・罠」と対策を解説しました。お子様のタイプを知ることは理解の第一歩ですが、実際の指導では性格だけでなく、**志望校の傾向・学力レベル・残り期間**を総合的に判断する必要があります。

「おうち受験コーチング」では、オーダーメイドの戦略で最短ルートの対策を提案します。国語力が上がれば、他教科の成績も自然と底上げされます。

無料個別相談のご案内

お子さんのタイプ診断と
あわせて、
最適な学習プランを
一緒に考えましょう。



限定
5名

国語の成績が伸びない…
そのお悩み、
プロが診断します！



国語力診断
無料個別相談

おうち受験コーチング

あなたの「合格」を、個性からデザインする。